

# 運転支援エージェントシステムの実証実験

## ■ 実証実験の概要

運転操作と周辺環境に基づきドライバーに安全運転のアドバイスを行う「運転支援エージェントシステム」の研究・開発、および運転に必要な認知・判断・操作の能力評価方法である「運転能力評価法」の研究を目的として、名古屋大学と共同で実証実験を行います。本実証実験では、被験者の自家用車に設置したカメラおよび車載機から車外画像データおよび車両データを取得して、ドライバーの運転操作の特徴と周辺環境の関係性を分析します。

## ■ 実証実験の共同実施者

国立大学法人 東海国立大学機構 名古屋大学

## ■ 実証エリア

名古屋大学が募集した一般の被験者の走行エリア全て（全国）

## ■ 取得するデータ

車両前方に設置したカメラより、車外画像データを取得します。

## ■ データを取得する期間

2025 年 11 月～2026 年 3 月

## ■ 利用目的

1. 運転支援エージェントシステムの研究・開発に利用するため。
2. 運転能力評価法の研究に利用するため。

## ■ 第三者提供

当社は、取得した車外画像データを、共同実施者である名古屋大学に以下の通り提供します。

- 提供先における利用目的：車外画像データを分析し、運転支援エージェントシステム及び運転能力評価法の研究に利用するため。
- 提供方法：クラウドシステムを介して提供

上記のほか、当社は、警察・裁判所・政府機関などからの強制力を伴う法的な要請に基づく場合に、第三者に提供することがあります。

## ■ データを保管する期間

取得から 10 年程度は車外画像データを保存することを予定しています。これは学会等の研究データの保存推奨期間が不正対策のため 10 年となっているためです。一方、この期間内であっても、これ以上は利用しないと判断できた場合には、速やかに車外画像データを削除いたします。

## ■ 個人情報保護・プライバシー尊重への取り組み

本実証実験で当社が取得する車外画像データには、歩道や道路脇を歩く人や、前方や隣接する車線を走行する車両のナンバーなどが映り込む可能性があります。トヨタはこの車外画像データを、個人情報として、個人情報保護法その他の関連する法律を順守して取り扱います。また、映り込んだ方のプライバシーを尊重するための取り組みを行っています。

当社は、映り込んだ方の個人情報保護・プライバシーの尊重のために、以下の対応をしています。

- 車外画像データの取り扱いに関する情報の適時適切な公表（本お知らせ）
- 車外画像データに対するアクセス制限やアクセスログの管理
- 車外画像データに映り込む人や車両のナンバーを個別に検索できない形式での保管
- 車外画像データに映り込んだ人や車両について個別に追跡したり、その行動特性や移動傾向などを分析したりすることの禁止

当社の取り組みについて、映り込む可能性のある皆様にご理解いただけるよう、これからも十分な説明や対応に努めてまいります。

（初版：2025 年 10 月 24 日）